

2023 年度日本分析化学会役員

会長 (代表理事)	大谷 肇						
副会長	山本 博之	保倉 明子	手嶋 紀雄	江坂 幸宏	平山 直紀		
庶務担当理事	渡慶次 学	大江 知行	安田 純子	倉光 英樹	山本 雅博	朝日 剛	
	井原 敏博	小澤 岳昌	早下 隆士	上野 祐子	吉田 裕美		
会計担当理事	松浦 義和	本田 俊哉					
編集担当理事	加地 範匡	水口 仁志	津越 敬寿				
常務理事	柿田 和俊						
監事	田中 俊逸	宮野 博					

2023 年度日本分析化学会支部役員

【北海道支部】	(〒060-8628 北海道札幌市北区北 13 条西 8 丁目 北海道大学大学院工学研究院応用科学部門内)
支部長	渡慶次 学
副支部長	坂入 正敏 (木村)須田廣美
参 与	伊藤八十男 大谷 友二 片山 則昭 齋藤 健 神 和夫 高橋 一樹 高橋 英明
長谷部 清	森田みゆき 横沢 龍朗
監 事	伊藤 慎二 蠣崎 悌司
庶務幹事	菅 正彦 谷 博文
会計幹事	真栄城正寿 三浦 篤志
幹 事	青柳 直樹 池田 敦子 石田 晃彦 今枝 佳祐 上野 貢生 宇都 正幸 大木 淳之
大津 直史	岡 征子 奥田 弥生 川口 俊一 工藤 英博 黒澤 隆夫 齋藤 徹 堺井 亮介
佐々木隆浩	佐藤 久 真田 哲也 高瀬 舞 高橋 徹 田中 俊逸 田原るり子 千葉 真弘
徳光 藍	富田 恵一 中田 耕 中谷 暢丈 西村 一彦 沼田ゆかり 古崎 睦 松井 宏之
南 尚嗣	三原 義広 村井 毅 諸角 達也 山田 幸司 吉村 昭毅 龍崎 奏 若杉 郷臣
【東北支部】	(〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-07 東北大学大学院環境科学研究科先端環境創成学専攻)
支部長	大江 知行
副支部長	珠玖 仁 高貝 慶隆
参 与	秋葉 健一 宇野原信行 大関 邦夫 大類 洋 尾形 健明 荻野 博 長 哲郎
小田嶋次勝	後藤 順一 齋藤 紘一 佐藤 允美 南原 利夫 糠塚いそし 星野 仁 山崎 慎一
四ツ柳隆夫	
監 事	西澤 精一 藤村 務
庶務幹事	熊谷 将吾
会計幹事	李 宣和
幹 事	赤坂 和昭 壹岐 伸彦 石川大太郎 伊藤 徹二 伊野 浩介 井上 賢一 岩田 吉弘
遠藤 昌敏	大橋 弘範 小川 信明 押手 茂克 尾高 雅文 加藤 健 上條 利夫 唐島田龍之介
菊地 洋一	菊池美保子 北川 文彦 斎藤昇太郎 佐藤 勝彦 佐藤 健二 佐藤 雄介 猿渡 英之
志村 清仁	高橋 薫 田副 博文 多田 美香 寺前 紀夫 照井 教文 仲川 清隆 西澤 精一
沼田 靖	野原 幸男 橋本 隆光 幡川 祐資 比嘉 勝孝 火原 彰秀 平野 愛弓 平山 和雄
福山 真央	末永 智一 松村 洋寿 眞野 成康 盛田 伸一 山田 理恵 和久井喜人 渡辺 壱
渡辺 健一	渡辺 忠一
【関東支部】	(〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ 304 号)
支部長	安田 純子
次期支部長	四宮 一総
副支部長	敷野 修 平山 直紀 宮下 隆
参 与	梅澤 喜夫 大橋弘三郎 岡田 哲男 小熊 幸一 金澤 秀子 楠 文代 合志 陽一
澤田 清	渋川 雅美 杉谷 嘉則 鈴木 康志 高田 芳矩 高村喜代子 田中 龍彦 津越 敬寿
角田 欣一	中込 和哉 中村 洋 二瓶 好正 丹羽 修 早下 隆士 平井 昭司 藤浪 眞紀
保母 敏行	本田 俊哉 前田 瑞夫 宮村 一夫 望月 直樹 矢野 良子 山崎 素直 山根 兵

お知らせ

山本 博之								
監 事	会田 秀樹	津越 敬寿						
常任幹事	青木 寛	石川 隆一	板橋 大輔	稲川 有徳	植田 郁生	上野 祐子	梅林 泰宏	
	岡村 浩之	国村 伸祐	桑田 啓子	坂元 秀之	島田亜佐子	東海林 敦	菅沼 こと	菅原 一晴
	鈴木彌生子	高橋あかね	高橋由紀子	高橋 豊	豊田 太郎	並木 健二	丹羽 宏之	沼子 千弥
	林 英男	古庄 義明	森岡 和大	由井 宏治	吉田 達成			
支部幹事	伊藤 彰英	勝又 啓一	吉川ひとみ	中村 圭介	西島 喜明	半田友衣子	福原 学	
	南木 創	森田耕太郎						

【中部支部】 (〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須 1-35-18 一光大須ビル 7F (公財)中部科学技術センター内)

支 部 長	江坂 幸宏							
次期支部長	倉光 英樹							
副支部長	小川 数馬	巽 広輔						
顧 問	板谷 芳京	上田 一正	上田 穰一	太田 清久	北川 邦行	酒井 忠雄	田口 茂	
	柘植 新	津田 孝雄	寺田喜久雄	永長 幸雄	中村 俊夫	野村 俊明	早川 和一	原 稔
	樋上 照男	平出 正孝	舟橋 重信	本浄 高治	三輪 智夫	山田 真吉	山寺 秀雄	湯地 昭夫
参 与	一ノ木 進	井村 久則	宇野 文二	大谷 肇	小谷 明	竹内 豊英	田中 智一	
	遠田 浩司	中田 隆二	波多 宣子	服部 敏明	馬場 嘉信	藤本 忠藏		
監 事	栗原 誠	長谷川 浩						
庶務幹事	山本 拓平	佐澤 和人						
会計幹事	水野 初	間中 淳						
常任幹事	石田 康行	甲斐 穂高	加賀谷重浩	加藤 亮	後反 克典	柴田 信行	高田 主岳	
	高橋 史樹	轟木堅一郎	西山 嘉男	湯川 博	リムリーワ			
幹 事	飯國 良規	伊藤 雅章	植松 宏平	黄 国宏	太田 鑑	太田 一徳	奥山 修司	
	香川 信之	勝又 英之	金子 聡	儀賀 義勝	北出 和久	木全 良典	金 継業	妹尾 健吾
	高橋 透	立石 一希	袋布 昌幹	手嶋 紀雄	永谷 広久	丹羽 敏之	丹羽 啓誌	淵上 剛志
	古川 真衣	松宮 弘明	御子柴正明	三添 英明	吉田 一之	吉田 佳宏	四津 佳伸	藁科 知之

【近畿支部】 (〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町 1-8-4 (一財)大阪科学技術センター内)

支 部 長	山本 雅博							
副支部長	岩月 聡史	堀田 弘樹						
庶務幹事	森澤 勇介	岩月 聡史						
会計幹事	奥田 浩子	宇田 亮子						
参 与	荒川 隆一	池田 篤治	池田 昌彦	大塚 利行	大塚 浩二	尾崎 幸洋	垣内 隆	
	加納 健司	河合 潤	木原 壯林	木村 恵一	木村 優	紀本 岳志	小島 次雄	佐伯 正夫
	澁谷 康彦	田中 稔	谷口 一雄	千熊 正彦	寺部 茂	中川 照眞	中原 武利	萩中 淳
	藤田 芳一	藤原 英明	増田 嘉孝	松下 隆之	八尾 俊男	横井 邦彦	渡辺 巖	渡會 仁
常任幹事	石濱 泰	大城 敬人	桑本 恵子	駒谷慎太郎	椎木 弘	許 岩	鈴木 哲仁	
	高野祥太郎	高原 晃里	壺井 基裕	鳥羽真由子	中島 陽一	西 直哉	長谷川 健	牧 秀志
	山本佐知雄	山本 茂樹	吉田 裕美					
幹 事	青山 佳弘	浅川 大地	飯田 琢也	石切山一彦	磯尾賢太郎	伊藤 滋之	猪鼻 祐介	
	岩本 仁志	上田 啓太	遠藤 達郎	岡本 行広	小堤 和彦	小山 宗孝	糟野 潤	門 晋平
	金尾 英佑	川上奈津子	川崎 英也	河原 直樹	川元 達彦	北隅 優希	北山 紗織	木村 敦臣
	久保 拓也	久保埜公二	倉内 奈美	小池 亮	河野 七瀬	小林 典裕	小林 宏資	坂本 英文
	佐々木隆之	作花 哲夫	下赤 卓史	下条晃司郎	下山 昌彦	白井 理	末吉 健志	杉原 崇康
	杉山 雅人	鈴江 崇彦	鈴木 哲	砂山 博文	諏訪 雅頼	瀬戸 康雄	宗林 由樹	宋和 慶盛
	高木 達也	高橋 弘樹	武上 茂彦	竹田さほり	田中 章夫	谷田 肇	千葉 光一	茶山 健二
	塚越 一彦	塚原 聡	塚本 効司	辻 幸一	角井 伸次	坪井 泰之	天満 敬	土井 光暢
	床波 志保	豊田 岐聡	永井 秀典	中口 譲	中澤 隆	中原 佳夫	中村 稜雅	中山 茂吉
	並川 敬	西尾 友志	野田 達夫	萩森 政頼	橋田紳乃介	張野 宏也	東 昇	久本 秀明
	平原 将也	藤居 義和	藤嶽 暢英	藤森 啓一	藤原 学	布施 泰朗	細矢 憲	堀山志朱代
	本間 秀和	前田 耕治	牧 輝弥	松本 明弘	丸尾 雅啓	三木功次郎	三戸彩絵子	宮崎 哲男
	宮道 隆	向井 浩	村上 正裕	村松 康司	森内 隆代	森田 成昭	八木 正浩	矢嶋 撰子

お知らせ

安井 裕之 安川 智之 山垣 亮 山口 英一 山口 敬子 山根 常幸 吉田 朋子 米田 哲弥
渡邊 誠也

【中国四国支部】(〒739-8526 広島県東広島市鏡山 1-3-1 広島大学大学院先進理工系科学研究科 (化学プログラム) 分析化学研究室内)

支 部 長	朝日 剛								
次期支部長	高柳 俊夫								
副支部長	名郷 洋信								
支部参与	池田 早苗	伊藤 一明	今井 嘉彦	岩知道 正	奥村 稔	木卜 光夫	熊丸 尚宏		
善木 道雄	田頭 昭二	竹味 弘勝	中野 恵文	林 康久	平田 静子	廣川 健	藤原 照文		
北條 正司	真鍋 敬	宮田 晴夫	本仲 純子	本水 昌二	森田 秀芳	山崎 恒博			
支部監事	小園 修治	早川慎二郎							
庶務幹事	小崎 大輔	管原 庄吾	水口 仁志						
会計幹事	浅岡 聡								
常任幹事	安達 健太	石坂 昌司	池内 研二	泉 雅典	今井 昭二	上田 忠治	上田 真史		
金田 隆	紙谷 浩之	北出 哲朗	北山 宏三	座古 保	竹田 一彦	田所 大典	田中 秀治		
谷崎 達也	谷本 典之	西 博行	原 哲也	藤井 健太	藤田 勉	藤原 薫	森 勝伸		
盛田啓一郎	森本 稔	藪谷 智規	横山 崇	吉村 友宏	和田 修治				
支部幹事	浅野 比	井上 裕文	片岡 洋行	荻部 甚一	川村 邦男	小松原恒生	島崎 洋次		
竹内 政樹	竹永 史典	武安 伸幸	谷村 俊史	寺川 敦哉	永阪 文惣	中山 雅晴	西本 潤		
西脇 芳典	樋口 浩一	藤原 勇	淵脇 雄介	松原 弘樹	門木 秀幸	山下 浩	山本 剛		
山本 孝	吉岡 徹	和田 光弘							

【九州支部】(〒870-1192 大分県大分市旦野原 700 大分大学理工学部)

支 部 長	井上 高教								
次期支部長	加地 範匡								
副支部長	浅田 泰	稻田 幹							
支部参与	石黒 慎一	今坂藤太郎	今任 稔彦	岩崎 正武	鎌田 薩男	河濟 博文	喜納 兼勇		
黒木 広明	合屋周次郎	財津 潔	下田 満哉	城 昭典	高館 明	谷口 功	田端 正明		
出口 俊雄	中島憲一郎	中村 博	肥後 盛秀	増田 義人	松本 清	山口 政俊	山田 淳		
脇田 久伸									
監 査	富安 卓滋	赤瀬信一郎							
庶務幹事	江藤真由美								
会計幹事	鈴木 絢子								
常任幹事	新垣 雄光	井倉 則之	大島 達也	岸川 直哉	栗崎 敏	高橋 幸奈	高椋 利幸		
竹中 繁織	戸田 敬	浜瀬 健司	松尾 隆司	松森 信明					
幹 事	安藤 功	石岡 寿雄	石川 洋哉	石田 雄士	井原 敏博	宇都宮 聡	梅木 辰也		
王子田彰夫	大渡 啓介	大庭 義史	大平 慎一	恩田 健	片山 佳樹	加藤 祐子	梶島 力		
梶島 正美	上畑桂太郎	川上 健次	川畑 明	神崎 亮	北村 裕介	木下 将和	栗原 龍		
黒田 直敬	呉 行正	児玉谷 仁	財津 慎一	笹木 圭子	佐藤しのぶ	佐藤 博	佐藤 正雄		
佐野 洋一	澤津橋徹哉	塩路 幸生	清水 陽一	白土 英樹	末田 慎二	宗 伸明	高橋 章		
高橋 浩司	高橋 政孝	竹原 公	田中 充	手嶋 康介	天日 美薫	富永 昌人	鳥羽 陽		
中島 常憲	中園 学	中武 貞文	中野 幸二	中村 沙織	中山 研一	新留 康郎	西田 正志		
能田 均	能登 征美	野間 誠司	馬場 由成	巴山 忠	原口 浩一	原田 明	原田 雅章		
藤井 清永	前田 明広	増田 寿伸	真瀬田幹生	又吉 直子	松井 利郎	松田 直樹	松本 篤彦		
水城 圭司	満尾 良弘	満塩 勝	三宅 孝彰	村田 正治	森 健	安田みどり	藪下 彰啓		
山口 敏男	山下 将一	横山さゆり	横山 拓史	吉田 亨次	吉田 秀幸	吉田 祐一	吉留 俊史		
吉村 和久									

2022年「分析化学」論文賞

多数の掲載論文の中から厳正なる審査の結果、標記論文賞が下記のとおり決まりました。受賞論文の概要は本号244~245ページをご覧ください。

著者：末吉健志・松田景太・遠藤達郎・久本秀明
 題名：『デジタル分子ふるい電気泳動用キャピラリーデバイスの開発』
 [[分析化学] 所載ページ：第71巻第6号、325-331ページ]

著者：尾関優香・北川慎也・大谷 肇・近藤洋輔・品田弘子
 題名：『エレクトロスプレーイオン化—イオンモビリティセクトロメトリ—質量分析法によるスチレン/アクリル酸 *n*-ブチル共重合体の解析』
 [[分析化学] 所載ページ：第71巻第10・11号、563-570ページ]

2023年度分析士会総会・研修講演会

主催 (公社)日本分析化学会・分析士会
 協賛 (公社)日本分析化学会・LC研究懇談会
 後援 LCシニアクラブ

分析士の方にはリカレント教育の一環として各分野の最新情報を、また受験予定者には受験に必要な情報をそれぞれ提供いたします。

期日 2023年10月12日(木) 13:00~19:30

会場 五反田文化会館〔東京都品川区西五反田1-32-2、電話：03-3491-4010、交通：JR「五反田」駅または東急池上線「大崎広小路」駅下車、徒歩7分〕
<http://www.gotandabunkakaikan.com>

対象者 分析士の方々及び分析士認証試験の受験を考えておられる方。

定員 50名(申込順)

プログラム

13:00~13:30 受付

総合司会 榎本幹司

13:30~14:00 (プレゼンター 中村 洋)

分析士会総会

1. 新役員承認

2. 地区幹事承認

3. 見学会小委員承認

4. ホームページ小委員承認

5. その他、活動方針などの承認

14:00~14:30 会長講演(座長 三上博久)

「分析士と分析士会のSDGs」

(東京理科大学) 中村 洋

14:35~15:35 LCマイスター講演(座長 熊谷浩樹)

「HPLCを紐解く」

(株)島津総合サービスリサーチセンター) 三上博久

15:35~15:50 休憩

15:50~16:50 LC/MSマイスター講演(座長 合田竜弥)

「新モダリティ医薬品の開発に対する質量分析計の役割」

(株)東レリサーチセンター) 竹澤正明

16:55~17:55 解説講演(座長 竹澤正明)

「高分子のHPLC」

(アジレント・テクノロジー(株)) 熊谷浩樹

18:00~20:00 情報交換会

参加費 申込期限内4,000円、申込期限後5,000円。当日、受付でお支払いください。

申込方法 ①氏名、②所属、③連絡用電子メールアドレス、④登録済みの分析士資格(種別と段位)の有無を明記して下記申込先にメールでお申し込みください。④は、参加者の中から分野ごとに新幹事をお願いする原則に必要な情報です。

申込期限 10月5日(木)

申込・問合せ 分析士会総会担当 [E-mail: nakamura@jsac.or.jp]

第28講研究開発リーダー実務講座2023

—企業の将来を担う理想の研究開発リーダー像とは?—

主催 (一社)近畿化学協会

協賛 (公社)日本分析化学会近畿支部

日時 第1回:2023年7月6日(木)、第2回:8月3日(木)、第3回:9月1日(金)、第4回:10月13日(金)、第5回:11月2日(木)、第6回:12月15日(金)、各回13:00~18:30

場所 大阪科学技術センター〔大阪市西区靱本町1-8-4〕

(対面式開催のみ)

プログラム (各回終了後、グループディスカッション、ビジネス交流会を開催)

7月6日(木)第1回【研究開発リーダーのあり方】

1. 「弱者の時代」の歩き方—リーダーに求められる2つのコアコンピテンス—

(アルプス薬品/ケルセジェン・ファーマ) 小野光則

8月3日(木)第2回【新規事業への挑戦】

1. 目撃証言:富士フィルムの新規事業創出

(富士フィルム) 曾呂利忠弘

2. グローバル目線の人脈形成と、新規事業への人財活用

(ウェストコーナー/北大名誉) 西田まゆみ

9月1日(金)第3回【知財戦略とオープンイノベーション】

1. 産学連携を成功に導く知財戦略

(東工大) 進士千尋

2. 産学連携によるイノベーション創出(仮)

(神戸大院科学技術イノベーション) 坂井貴行

10月13日(金)第4回【事業変革と人材育成】

1. やりきる力がすべてを変えた

(十全化学) 廣田大輔

2. 月曜日が楽しいな会社にしよう!—逆境からの飛躍を実現する人財を育てる全体最適のマネジメント理論TOC—

(Goldratt Japan) 岸良裕司

11月2日(木)第5回【オープンイノベーションと事業変革】

1. 科学技術イノベーション創出のためのアントレプレナーシップ

(神戸大院経営) 忽那憲治

2. リサーチトランスフォーメーション(RX)の羅針盤

(JST) 永野智己

12月15日(金)第6回【新事業創出】

1. イノベーションプロセスの概要—40年間の企業生活で学んだ事—

(三井化学/元日東電工) 表 利彦

参加費 主催団体所属会員:66,000円、協賛団体所属会員:88,000円、会員外:110,000円(1名参加分、6回通し受講のみ、消費税込)

申込・問合せ 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階 (一社)近畿化学協会「研究開発リーダー実務講座」係 [電話:06-6441-5531, FAX:06-6443-6685, E-mail:seminar@kinka.or.jp]

詳細はホームページ

<https://kinka.or.jp/event/2023/28leader.html> をご参照くだ

さい

2023年度「ぶんせき講習会」(実践編) 第68回機器による分析化学講習会

～蛍光 X 線分析法による液体試料の微量金属元素分析～

主催 (公社)日本分析化学会近畿支部, 近畿分析技術研究懇話会

期日 2023年7月14日(金) 10.00～17.00

会場 (株)リガク大阪工場〔大阪府高槻市赤大路町14-8, 電話: 072-693-3800, 交通: JR「摂津富田」駅下車徒歩20分/タクシー2km以内, 阪急「総持寺」駅下車徒歩8分〕

<https://japan.rigaku.com/ja/about/map-takatsuki>

講習プログラム

1. 講義「蛍光 X 線微量分析の基礎と応用」(阪公立大) 辻幸一
2. 講義「水の品質保証における微量元素分析」(サントリーホールディングス) 鳥羽真由子
3. 講義「蛍光 X 線分析法による液体分析」(リガク) 本間寿
4. 実習「蛍光 X 線分析法による液体分析」リガク
 - ・直接法による試料調製と検量線法を用いた液体分析
 - ・点滴法による試料調製とスタンダードレス FP 法を用いた液体分析
 - ・全反射蛍光 X 線分析法による水の微量元素分析

参加費 主催・協賛団体所属会員: 11,000円, 会員外一般: 21,000円, 学生: 6,000円

参加申込締切 7月7日(金), 定員(20名)。お申込受付は先着順とし, 定員になり次第締め切り, 7月8日以降のキャンセルは不可。

申込方法 詳細は近畿支部 HP (<http://www.bunkin.org/>) をご参照ください。申込先 〒550-0004 大阪市西区鞠本町1-8-4 大阪科学技術センター6階(公社)日本分析化学会近畿支部〔電話: 06-6441-5531, FAX: 06-6443-6685, E-mail: mail@bunkin.org, 近畿支部 HP: <http://www.bunkin.org/>〕

問合先 堀田弘樹(神戸大学) [E-mail: hotta@opal.kobe-u.ac.jp]

第385回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー(LC)研究懇談会

後援 (公社)日本薬学会, (公社)日本化学会, (公社)日本農芸化学会, (公社)日本分析化学会

ピークを分離することは, ピークの検出と並ぶクロマトグラフィーの根幹要素です。HPLCにおいても, 種々の技術や手法が試みられ開発されてきました。本例会では, ピーク分離に関する技術, 手法について, HPLCシステムやカラム, ピーク処理手法等さまざまな角度から講演をしていただきます。

期日 2023年7月19日(水) 13.00～16.55

会場 Zoom オンライン会場

講演主題 ピークを分ける技術

講演

講演主題概説(オーガナイザー)(13.00～13.05)

(アジレント・テクノロジー(株)) 熊谷浩樹(LC分析士四段, LC/MS分析士二段)

1. あと少しの分離改善のテクニック(13.05～13.40)

((一財)化学物質評価研究機構) 坂牧 寛

(LC分析士二段, LC/MS分析士初段)

2. 低吸着 LC システムによるクロマトピークの改善(13.40～14.15)

(日本ウォーターズ(株)) 島崎裕紀(LC分析士三段, LCMS分析士二段)

3. 2次元 LC の最新技術と応用(14.15～14.50)

(アジレント・テクノロジー(株)) 熊谷浩樹(LC分析士四段, LC/MS分析士二段)

休憩(14.50～15.10)

4. PDA 検出器とケモメトリクス技術の融合によるピークデコンボリューション(15.10～15.45)

(株)島津製作所) 寺田英敏(LC分析士二段)

5. HPLC メソッド開発の効率化について(15.45～16.20)

(株)日立ハイテクサイエンス) 清水克敏(LC分析士二段, LC/MS分析士初段)

6. 総括「ピークを分ける技術」(16.20～16.55)

(東京理科大学) 中村 洋

(LCマイスター, LC/MSマイスター)

参加費 LC 研究懇談会・個人会員: 1,000円, 後援学会・会員: 3,000円, その他: 4,000円, 学生: 1,000円。参加申込締切日後の受付はできませんので, ご了承ください。

情報交換会 終了後, 講師を囲んで情報交換会を開催します(会費1,000円)。参加申込締切後のご参加はできませんので, ご了承ください。

申込締切日 7月12日(水)(入金締切時刻: 15時まで)

申込方法

1. 参加希望者は, 下記申込先にアクセスし, 氏名, 勤務先(電話番号), LC 会員・協賛学会会員・その他の別及び情報交換会参加の有無を明記のうえ, お申込みください。なお, 参加者名と振込者名が違う場合は, 参加申込書の連絡事項欄に振込者名を明記してください。
2. お申込みが完了した場合には, 登録されたアドレス宛に「第385回液体クロマトグラフィー研究懇談会申込み受付(自動返信)」のメールが届きます。メールが届かない場合は, 世話人までお問い合わせください。
3. 申込み受付のメールを受領後, 必ず期限内に参加費の納入を行ってください。期限内に参加費納入が確認できない場合, 参加申込みを無効とし参加 URL を発行しませんので, 十分ご注意ください。なお, 一旦納入された参加費は, 返金いたしません。
4. 参加費の納入が確認できた方には, 2023年7月13日以降に①例会サイト入場 URL と②「視聴者用操作マニュアル」をお送りします。また, 情報交換会参加費納入者には, ③情報交換会サイト入場 URL をお知らせいたします。なお, 請求書と領収書の発行はいたしておりません。領収書は, 振込時に金融機関が発行する振込票等をもって替えさせていただきます。

液体クロマトグラフィー研究懇談会(例会)参加費送金時のご注意

例会参加費, 情報交換会参加費を送金される場合, 下記を禁止しておりますので, ご理解のほどよろしくお願いいたします。

1. 複数例会の参加費の同時振込(→例会ごとに振り込んでください)
2. 複数参加者の参加費の同時振込(→参加者ごとに振り込んでください)
3. 年会費や他の費用との合算振込(→費目ごとに振り込んでください)

申込先 <https://forms.gle/MqRMz6AJNnJGARcN7>

銀行送金先 りそな銀行五反田支店(普通)1754341口座名義: シヤ)ニホンブンセキカガクカイ(公益社団法人日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会)

問合先 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会 世話人 アジレント・テクノロジー(株) 熊谷浩樹

[E-mail : hiroki_kumagai@agilent.com]

第 61 回分析化学講習会

主催 日本分析化学会九州支部
 共催 福岡市, 九州大学先端科学技術研究所 (ISIT), 九州大学学術研究都市推進機構, 日本化学会九州支部, 電気化学会九州支部, 日本薬学会九州支部, 日本食品科学工学会西日本支部, 日本農芸化学会西日本支部, 日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部, 日本臨床化学会九州支部, 日本水環境学会九州支部, 化学工学会九州支部事務局, 福岡県環境計量証明事業協会

期日 2023年8月1日(火)~22日(火)

会場

九州大学伊都キャンパス [福岡市西区元岡 744]
 九州大学馬出キャンパス [福岡市東区馬出 3-1-1]
 福岡大学理学部 [福岡市城南区七隈 8-19-1]
 福岡市産学連携交流センター [福岡市西区九大新町 4-1]

講義と実習・期日

- GC ガスクロマトグラフィー
 8月8日(火)九州大学伊都キャンパス
 講師:(熊本県立大)白土英樹,(九大院農)井倉則之
 A. 化合物の同定(保持指標, マススペクトル)
 B. 定量分析(内標準法)
 C. 試料導入法(スプリット法, スプリットレス法)
 D. 香気成分のサンプリング(固相マイクロ抽出法)
 E. 食品の香気成分分析(GC-MS法)
- HPLC 高速液体クロマトグラフィー
 8月9日(水)・10日(木)九州大学馬出キャンパス
 講師:(九大院薬)浜瀬健司,(福岡大薬)巴山 忠
 A. 逆相 HPLC の基礎実習と実試料分析(医薬品・化粧品分析)
 B. HPLC 機器の内部構造とメンテナンス
 C. HPLC 用超純水製造装置
 D. 超高速全自動プレカラム誘導体化アミノ酸分析
 E. AI 支援による自動 HPLC メソッド開発システムの紹介
 F. 逆相モード, HILIC モードを用いた低分子化合物の分離~汎用から最新の高速分析カラムまでのカラム選択~
 G. 極性化合物分析へのアプローチ
 H. イオンクロマトグラフィーによる水, 大気などの環境分析ならびに各種品質評価
 I. 卓上小型 MS 検出器 ACQUITY QDa を用いる新感覚 LC-MS 分析
 J. 円二色性検出器を用いたキラル分離
- ICP-MS 誘導結合プラズマ質量分析法
 8月8日(火)・9日(水)九州大学伊都キャンパス
 講師:(九環協)天日美薫
 A. 無機分析に関する基礎
 B. 固相抽出法等による前処理
 C. マイクロピペッターの精度管理とメンテナンス
 D. ICP-MS 法による金属分析及びメンテナンス
- X-ray X線分析
 8月22日(火)福岡大学理学部
 講師:(福岡大理)栗崎 敏, 市川慎太郎
 A. X線分析(回折, 蛍光X線分析)の基礎に関する講義と測定及びデータの解析
- SEM/TEM 電子顕微鏡分析
 8月1日(火)福岡市産学連携交流センター
 講師:(九大院理)宇都宮聡

A. 電子顕微鏡分析(SEM/TEM)の基礎に関する講義とSEM/TEMによる試料観察

6. NMR 核磁気共鳴分光法

8月7日(月)福岡市産学連携交流センター

講師:(九大院理)松森信明

A. NMRの基礎と溶液NMRの測定法

B. 有機物質の構造解析

ランチョンセミナー 8月9日(水)・10日(木), 12:00~13:00, HPLC 会場

使用機器 日立ハイテックサイエンス, サーモフィッシャーサイエンティフィック(ジェイ・サイエンス西日本), 東ソー, 島津製作所, 日本分光, 日本ウォーターズ, ジーエルサイエンス, エムエス機器, 大阪ソーダ, メルク, オルガノの提供による最新機器

申込方法 Webサイト(www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/)より以下の項目(①~⑤)を入力してお申し込みください。当方から受付番号をお知らせしますので, 参加費を下記口座にお振込みください。その際, 振込み人氏名の前に受付番号を必ず記入してください。①受講者氏名, ②所属, ③連絡先(郵便番号, 住所, Tel, E-mail), ④希望コース(GC, HPLC, ICP-MS, X-ray, SEM/TEM, NMR)の6コースから選択, 日程が重ならないければいくつでも可, ⑤所属する主催および共催学協会(複数回答可)

・やむを得ない事情により, プログラムの一部を変更することがあります。

・各実習コースは定員制ですので, お早めにお申し込みください。

・参加費の入金の確認をもって申し込みを受理いたしますので, 振込用紙には参加者の名前を必ず記載してください。

・会員には, 勤務先が維持会員, 特別会員, 公益会員の方も含まれます。

・いったん納入された参加費の払い戻しはいたしません。

申込締切 7月7日(金)

参加費(税込)

主催・共催会員: 35,000円(非課税)

会員外: 45,000円(税込)

学生: 15,000円

振込先 福岡銀行 鹿児島営業部(支店コード751)

普通 1400596, 名義: 第61回分析化学講習会 事務局会計 児玉谷 仁

問合先 〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-35 鹿児島大学大学院理工学研究科化学プログラム

[E-mail : bunkou2023@envchem.sci.kagoshima-u.ac.jp]

実行委員長 富安卓滋 [電話: 099-285-8107]

庶務担当 神崎 亮 [電話: 099-285-8106]

会計担当 児玉谷仁 [電話: 099-285-8108]

HPLC & LC/MS 講習会 2023
参加者募集

主催 (公社)日本分析化学会 LC 研究懇談会
 後援 (公社)日本薬学会, (公社)日本化学会, (公社)日本農芸化学会, (公社)日本分析化学会, LC シニアクラブ
 協賛 アジレント・テクノロジー(株), 関東化学(株), 島津製作所, 東ソー(株), 日本ウォーターズ(株), 日本分光(株), 日立ハイテックサイエンス

HPLC, LC/MS の初心者・中級者を対象とし, 基礎から最新のトレンドまでを講義と実習で学びます。規定の講習を終えた方には, 受講証を差し上げます。また, 希望者には実力判定試験を受験する機会が付与され(無料), 合格者は2023年度 LC 分析士初段または LC/MS 分析士初段認証試験の筆記試験

が免除される特典があります。

開催日 2023年9月27日(水)～29日(金)

会場 五反田文化会館(第一会議室, 第二会議室, もみじ)
〔東京都品川区西五反田1-32-2, 電話: 03-3491-4010, 交通: JR「五反田」駅または東急池上線「大崎広小路」駅下車, 徒歩7分〕

<http://www.gotandabunkakaikan.com>

講習プログラム

1日目(講義と情報交換会)

- 9.00～9.20 ガイダンス(オーガナイザー) 中村 洋
9.20～9.50 講義1 概論(東京理科大学) 中村 洋
9.55～10.55 講義2 分離(東ソー(株)) 伊藤誠治
11.00～12.00 講義3 検出(株)島津総合サービス・リサーチセンター) 三上博久
12.00～13.00 昼休み
13.00～14.00 講義4 前処理(日本ウォーターズ(株)) 島崎裕紀
14.05～15.05 講義5 試薬・有機溶媒・水(関東化学(株)) 坂本和則
15.05～15.20 休憩
15.20～16.20 講義6 LC/MS(株)東レリサーチセンター) 竹澤正明
16.25～17.25 講義7 トラブル解決法(第一三共(株)) 合田竜弥
17.30～19.30 情報交換会

2日目・3日目(実習, 実力判定試験, 総合討論)

9.00～16.00 実習
受講者は4班に分かれ, 以下の4種類の実習(各90分)を2日間で受講します。

実習 A-1 検出器の使い方: フォトダイオードアレイ検出器(株)島津製作所) 野村文子

フォトダイオードアレイ検出器(PDA 検出器)を用いると, 一度の分析でUV スペクトル情報を取り込むことができます。従って, 通常の間隔-吸光度の二次元データに加えて波長軸を含む三次元データを取り扱うことができ, 分析後にさまざまな解析が可能となります。本実習では, 着色料(食品添加物)の分析を例に取り, フォトダイオードアレイ検出器の基本操作と機能(ピーク純度の検定, スペクトルによるピーク同定など)について, 実際の分析データを基にして学んでいただきます。また, PDA 検出器の能力をさらに高める最新のピーク解析技術についてもご紹介します。

実習 A-2 検出器の使い方: 蛍光検出器(日本分光(株)) 未定

蛍光物質を高感度かつ選択的に検出する蛍光検出器は, HPLC における微量成分の高感度検出や蛍光誘導体化した成分の測定などに多く使用されています。実習では, 実際に蛍光検出器付 HPLC システムを動作させて, 蛍光物質を測定しながら, 蛍光検出器の原理と特長, 励起及び蛍光波長の設定, 波長のタイムプログラムの使用方法, 測定時における留意点を学んでいただきます。

実習 B カラム分離とデータ解析(株)日立ハイテクサイエンス) 清水克敏, 宮野桃子

使用頻度が高い逆相系のカラムを用い, 目的成分が分離する移動相条件を検討します。移動相条件が分離・保持時間に影響を与えること, 最適条件を設定するためのポイントを学びます。取得したクロマトグラムを使用し, ベースライン補正方法と定量的実際, カラムの性能評価を実習していただきます。

実習 C 固相抽出～オフラインからオンラインまで(日本ウォーターズ(株)) 島崎裕紀

LC/MS/MS など分析装置の感度と選択性の向上が目覚ましい今日においても信頼性の高い分析を行うためにはサンプル前処理が必要な場合が少なくありません。特に医薬品バイオアナリシス, 食品分析, 環境分析など複雑なサンプルマトリクス中の微量成分を分析する場合はサンプル前処理が成功の鍵となります。本実習では幅広く使用されている固相抽出について色素サンプルを使用し受講者全員に前処理を体験していただきます。また, カラムスイッチング技術を使用したオンライン固相抽出法についても紹介します。

実習 D LC/MS の使い方(アジレント・テクノロジー(株)) 滝埜昌彦, 城代 航

タンデム四重極質量分析計を用いた LC/MS/MS システムは, 通常のマススペクトルの測定に加え, プロダクトイオンスペクトルやブリッカーイオンスペクトルの測定が可能です。近年では, 特に SRM モードを用いた選択性の高い高感度分析が可能であり, さまざまな試料中の微量成分の定量分析に使用されています。本実習では, 合成抗菌剤の一斉分析を例に取り, 測定条件の最適化方法, SRM 法を用いた定量分析法について学んでいただきます。

なお, 有機溶媒を使用しますので, 安全めがねを各自お持ちください。実習用の白衣はなくても結構です。実習 B では, 計算機(またはスマホ等)を使用しますので, 各自ご持参ください。また, 実習に当たっては十分な安全対策を講じておりますが, 講習会への行き帰り及び講習・実習中の事故等については, 免責とさせていただきます。必要と思われる方はご自身での保険加入をお願いいたします。

2日目

16.15～16.45 実力判定試験(無料・マークシート方式, 希望者のみ, LC コースまたは LC/MS コースのいずれかを受験)

受験希望者は B2～B6 の黒鉛筆と消しゴムを持参ください。実力判定試験の合格者は, LC 分析士初段または LC/MS 分析士初段認証試験合格者と同等の実力を有すると見なされます。後日, 初段試験の受験料と登録費を支払われた方には, 当該資格の登録証が送付されます。

3日目

16.00～16.45 総合討論

16.45～17.00 受講証授与

日程	1日目午前	2日目午後	3日目午前	3日目午後
開始時間	9.00	13.00	9.00	13.00
実習 A	1 班	4 班	3 班	2 班
実習 B	2 班	1 班	4 班	3 班
実習 C	3 班	2 班	1 班	4 班
実習 D	4 班	3 班	2 班	1 班

募集定員 50 名

参加費用 40,000 円(LC 研究懇談会個人会員, 後援学会個人会員), 50,000 円(その他)

参加方法 LC 研究懇談会のホームページなどから, 以下の URL にお申し込みください。

<https://forms.gle/Hc3tbfy8Q4jQnrGz6>

参加申込・振込期日 9月6日(水)(15時)

参加費振込先 りそな銀行五反田支店, 普通預金口座, 口座番号: 0802349, 口座名義: (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会

シヤ)ニホンブンセキカガクカイエキタイクロマトグラフィーケンキュウコンダンカイ

連絡先 ご質問・総合討論で議論したい事柄などを下記へお知らせください。LC 研究懇談会 [E-mail: nakamura@jsac.or.jp]

第59回 X線分析討論会

主催 (公社)日本分析化学会 X線分析研究懇談会
 期日 2023年10月21日(土)・22日(日)
 会場 東京都世田谷区玉堤1-28-1]

討論主題 次の6点に関係する発表を募集する。

- (1) 実験室系 X線源・小型 X線源による迅速分析
- (2) X線分析と各種分析技術の融合による先端科学への応用
- (3) X線要素機器の開発と X線分析への展開
- (4) X線イメージングおよび顕微解析
- (5) X線吸収分光と電子分光(XAFS, EELS)
- (6) 表面分析(XPS, TXRF等), その他

講演申込期間 7月1日(土)~7月31日(月)

・講演内容は未発表のものに限ります。

講演要旨受付期間 9月1日(金)~9月29日(金)

事前参加申込期間 9月1日(金)~9月29日(金)

参加登録料

一般事前: 4,500円(会員*), 5,500円(非会員)

一般当日: 6,000円(会員*), 7,000円(非会員)

学生予約: 2,000円, 学生当日: 3,000円

(*協賛学会員を含む)

詳細については、討論会 Web サイト

<https://xbun.jsac.jp/conference/no59.html>

をご覧ください。

連絡先 〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1-28-1 東京都
 大学理工学部応用化学科 江場宏美

[電話: 03-5707-0104 (代表), E-mail: xbun59@tcu.ac.jp]

——以下の各件は本会が共催・協賛・
 後援等をする行事です——

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

界面コロイドラーニング

—第39回現代コロイド・界面化学基礎講座—

主催 (公社)日本化学会コロイドおよび界面化学部会
 期日 東京会場: 2023年6月1日(木)・2日(金), 大阪会
 場: 6月15日(木)・16日(金)

会場 東京会場: 同志社大学東京オフィス, 大阪会場: 大阪科
 学技術センター(本町)

ホームページ

<https://colloid.csj.jp/category/seminar/>

連絡先 第39回現代コロイド・界面化学基礎講座事務局
 [E-mail: jigyoukikaku_01@colloid.csj.jp]

第75回表面科学基礎講座

表面・界面分析の基礎と応用

主催 (公社)日本表面真空学会

期日 2023年6月1日(木)~30日(金)

会場 オンライン(Google Classroom)

ホームページ <https://www.jvss.jp/>

連絡先 〒113-0033 東京都文京区本郷5-25-16 石川ビル
 5階 (公社)日本表面真空学会 [電話: 03-3812-0266,
 FAX: 03-3812-2897, E-mail: kaiin@jvss.jp]

熱測定オンライン講習会 2023

主催 日本熱測定学会

期日 2023年6月15日(木), 6月30日(金), 7月14日
 (金), 7月28日(金)

会場 オンライン開催

ホームページ

<https://www.netsu.org/2023onlinelecture/>

連絡先 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-6-7 宮沢ビ
 ル601 日本熱測定学会事務局 [電話: 03-5821-7120,
 FAX: 03-5821-7439, E-mail: netsu@mbd.nifty.com]

第41回高分子表面研究会基礎講座

「表面をつくる・みる・つかう」

主催 (公社)高分子学会高分子表面研究会

期日 2023年6月23日(金)

会場 東京理科大学森戸記念館第1フォーラム

ホームページ

<https://member.spsj.or.jp/event/index.php?id=457>

連絡先 〒104-0042 東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル
 (公社)高分子学会 第41回高分子表面研究会基礎講座係
 [電話: 03-5540-3770, FAX: 03-5540-3737]

第4回オンライン真空講習会入門講座

主催 (公社)日本表面真空学会
 期日 オンデマンド講義受講可能期間:2023年7月5日(水)
 12時~2024年2月15日(木)12時
 会場 オンライン(オンデマンド講義:AirCourse)
 ホームページ <https://www.jvss.jp/>
 連絡先 〒113-0033 東京都文京区本郷5-25-16 石川ビル
 5階 (公社)日本表面真空学会事務局〔電話:03-3812-
 0266, E-mail:office@jvss.jp〕

プラズマ分光分析研究会 2023 筑波セミナー

主催 プラズマ分光分析研究会
 期日 2023年7月6日(木)・7日(金)
 会場 つくば国際会議場 202 会議室およびオンライン
 ホームページ <http://plasma-dg.jp/>
 連絡先 プラズマ分光分析研究会事務局 梅村知也〔電話:
 042-816-3001, E-mail:office@plasma-dg.jp〕

第35回イオン交換セミナー
「挑戦するイオン交換 VII」

主催 日本イオン交換学会
 期日 2023年7月7日(金)
 会場 上智大学四ツ谷キャンパス
 ホームページ <http://www.jaie.gr.jp/>
 連絡先 長岡技術科学大学工学研究量子原子力系 鈴木達也
 〔電話:0258-47-9692, E-mail:tasuzuki@vos.nagaokaut.ac.jp〕

第11回対称性・群論トレーニングコース
(日本語講義・英語講義)

主催 日本結晶学会
 期日 (英語講義)2023年7月10日(月)~14日(金), (日本
 語講義)2023年7月24日(月)~28日(金)
 会場 高エネルギー加速器研究機構つくばキャンパス
 ホームページ <http://pfwww.kek.jp/trainingcourse/>
 連絡先 対称性・群論トレーニングコース事務局 高橋良美
 〔E-mail:tyoshimi@post.kek.jp〕

第5回使えるセンサ・シンポジウム 2023
(同時開催:第5回使えるセンサ技術展 2023)

主催 (一社)センサ協会の使えるセンサ・シンポジウム
 実行委員会
 期日 2023年7月20日(水)・21日(木)
 会場 マイドームおおさか
 ホームページ <http://sensait.jp/stc/symposium/>
 連絡先 〒162-0814 東京都新宿区新小川町 5-5 オプトロ
 ニクス社気付 STC2023 運営事務局〔電話:03-3269-
 3550, FAX:03-5229-7253〕

第33回電顕サマースクール
~形態学の真髄~

主催 (公社)日本顕微鏡学会
 期日 2023年8月7日(月)・8日(火)
 会場 川崎医科大学
 ホームページ
<https://microscopy.or.jp/summerschool/>
 連絡先 〒701-0192 岡山県倉敷市松島 577 川崎医科大学解
 剖学(内)第33回電顕サマースクール事務局 福田未来子
 〔電話:086-462-111(内線27520), E-mail:denkensummer33
 @med.kawasaki-m.ac.jp〕

第60回(2023年度)真空夏季大学

主催 (公社)日本表面真空学会
 期日 2023年8月29日(火)
 会場 八王子市生涯学習センター
 ホームページ <https://www.jvss.jp/>
 連絡先 〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-16 石川ビル
 5階 (公社)日本表面真空学会事務局〔電話:03-3812-
 0266, FAX:03-3812-2897, E-mail:office@jvss.jp〕

第12回環境放射能除染研究発表会

主催 (一社)環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再
 生のための学会
 期日 2023年8月30日(水)・31日(木)
 会場 とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)
 と Web のハイブリッド開催
 ホームページ <http://khjosen.org/>
 連絡先 〒305-0061 茨城県つくば市稲荷前 24-10-A-102
 (一社)環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のため
 の学会〔電話:029-886-9227, FAX:029-886-9228,
 E-mail:office@khjosen.org〕

第3回オンライン真空応用技術講座

主催 (公社)日本表面真空学会
 期日 オンデマンド講義受講可能期間:2023年9月5日(火)
 12時~2024年2月15日(木)12時
 会場 オンライン(オンデマンド講義:AirCourse)
 ホームページ <https://www.jvss.jp/>
 連絡先 〒113-0033 東京都文京区本郷5-25-16 石川ビル
 5階 (公社)日本表面真空学会事務局〔電話:03-3812-
 0266, E-mail:office@jvss.jp〕

第4回オンライン真空講習会

主催 (公社)日本表面真空学会
 期日 オンデマンド講義受講可能期間:2023年9月5日(火)
 12時~2024年2月15日(木)12時
 会場 オンライン(オンデマンド講義:AirCourse)
 ホームページ <https://www.jvss.jp/>

連絡先 〒113-0033 東京都文京区本郷5-25-16 石川ビル
5階 (公社)日本表面真空学会事務局〔電話:03-3812-
0266, E-mail:office@jvss.jp〕

2023年度日本地球化学会第70回年会

主催 (一社)日本地球化学会
期日 2023年9月21日(木)~23日(土)
会場 東京海洋大学品川キャンパスおよびハイブリッド開催
ホームページ
<http://www.geochem.jp/meeting/index.html>
連絡先 名古屋大学大学院環境学研究所地球環境科学専攻
浅原良浩〔E-mail:affairs@geochem.jp〕

第62回NMR討論会

主催 (一社)日本核磁気共鳴学会
期日 2023年11月7日(火)~9日(木)
会場 横須賀芸術劇場
ホームページ
<https://nmr62yokosuka.sakura.ne.jp/>
連絡先 〒239-8686 神奈川県横須賀市走水1-10-20 防衛
大学校応用化学科 浅野敦志〔E-mail:asanoa@nda.ac.jp〕

第44回超音波エレクトロニクスの基礎と 応用に関するシンポジウム

主催 超音波エレクトロニクス協会 USE シンポジウム運営
委員会
期日 2023年11月13日(月)~15日(水)
会場 富山国際会議場
ホームページ <https://use-jp.org>
連絡先 実行委員長〔E-mail:steering@use-jp.org〕

「分析化学討論会」特集の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」誌では、毎年第12号に分析化学討論会特集号として、分析化学討論会の討論主題に関連した論文を掲載しております。第83回分析化学討論会では、「生命を観る・測るバイオ分析の最前線」、「Next Gen」化学センシング~次世代化学センシングの方法論・デバイス開発の最前線~、「流れ分析法の新展開と社会への貢献」、「より迅速で、より簡便な分析化学を目指して」、「未来の「食」と「薬」を創る分析化学」の5テーマを討論主題として取り上げました。

一方、新型コロナウイルス感染症は、発生から3年余り経た今年5月ようやく5類感染症へと引き下げられましたが、この間、世界中で人々の生活に大きな変化をもたらしました。

そこで2023年度の分析化学討論会特集号では、5つの討論主題を「ポストコロナ時代の分析化学」と位置づけ、第83回分析化学討論会で設けた討論主題5テーマに関する論文を広く募集します。多数のご投稿をお待ちしております。詳細は「分析化学」72巻6号及びホームページをご覧ください。

特集論文の題目:「ポストコロナ時代の分析化学」

特集論文の対象:第83回分析化学討論会討論主題の下記5

テーマに関する論文。(討論会での発表の有無は問わない)
「生命を観る・測るバイオ分析の最前線」、「Next Gen」化学センシング~次世代化学センシングの方法論・デバイス開発の最前線~、「流れ分析法の新展開と社会への貢献」、「より迅速で、より簡便な分析化学を目指して」、「未来の「食」と「薬」を創る分析化学」

特集論文の申込締切:2023年7月7日(金)

特集論文の原稿締切:2023年8月11日(金)

「分析化学」年間特集“分”の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」では2010年より「年間特集」を企画し、節目の15年目に当たる2024年は「分」をテーマとすることと致しました。

本特集では「分」をキーワードとして、基礎・応用を含めた分析化学の“最新の知見”はもちろん、総合論文や分析化学総説といった形で現在の分析化学の“研究の背景”についても広く募集し、分析化学が担う役割を社会に向けて発信することを目的としています。本特集に関わる論文はすべての論文種目で年間を通じてご投稿いただくことが可能で、審査を通過した論文は単行の特集号を除く「分析化学」第73巻(2024年)合併号の冒頭に掲載する予定です。国内外、産学官を問わず、「分」に関わる分析化学の研究・開発に従事されている多くの皆様方からの投稿をお待ちしておりますので、是非この機会をご活用ください。なお、詳細は「分析化学」誌の6号及びホームページをご参照ください。

特集論文の対象:「分」に関連した分析化学的な基礎・応用研究に関する論文。例を以下に示します。

- 1) 環境水や体液といった液体試料を分析するための前処理分離に関する研究、2) さまざまな物質中から測定対象物質を分離抽出する技術に関する研究、3) 環境からの有害物質の除去・有用物質の回収に関する研究、4) クロマトグラフィーに関する基礎・応用研究、5) 分離のシミュレーションを活用した分析化学的研究、6) 生体サンプル中のバイオマーカー検出に関する研究。

特集論文申込締切:2023年7月21日(金) (第1期)

特集論文原稿締切:2023年8月18日(金) (第1期)